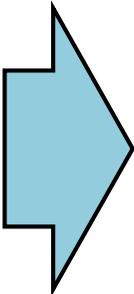
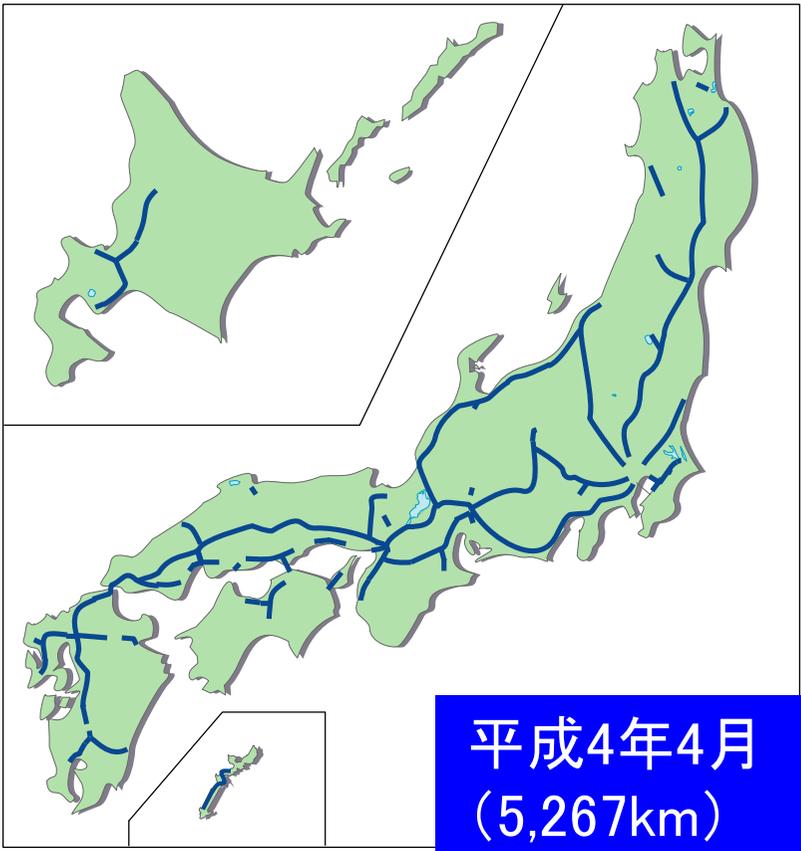


高速道路ナンバリングを取り巻く状況

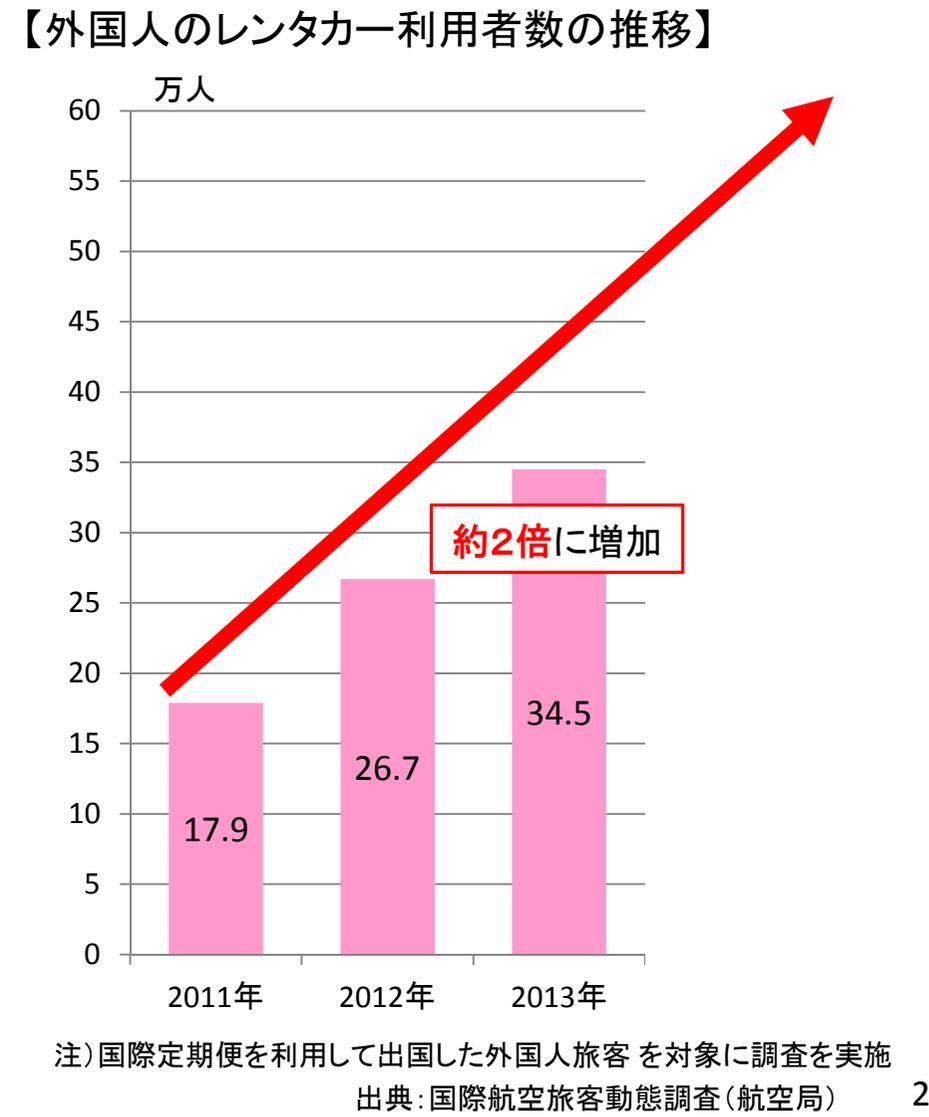
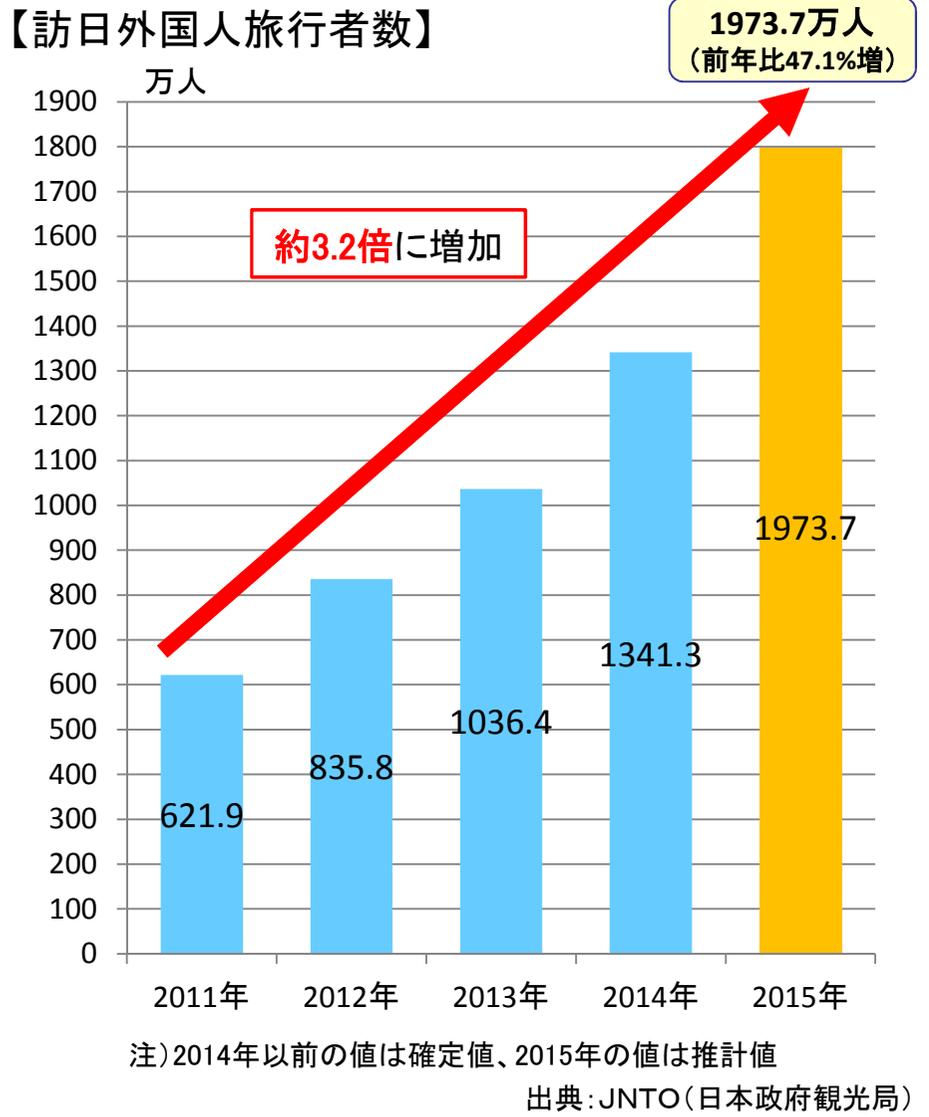
高規格幹線道路ネットワーク整備の進展

- 高規格幹線道路の整備延長は平成4年以降に2倍以上になるなど整備が進展。
- ネットワークの充実により、ドライバーのルート選択が多様化。



訪日外国人旅行者数及び外国人のレンタカー利用者数の推移

○訪日外国人旅行者数は、4年で約3.2倍に増加。
○外国人のレンタカー利用者数は、2年で約2倍に増加。



新たな目標値について

【参考】
明日の日本を支える観光ビジョン
構想会議(平成28年3月30日)
資料抜粋

安倍内閣3年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

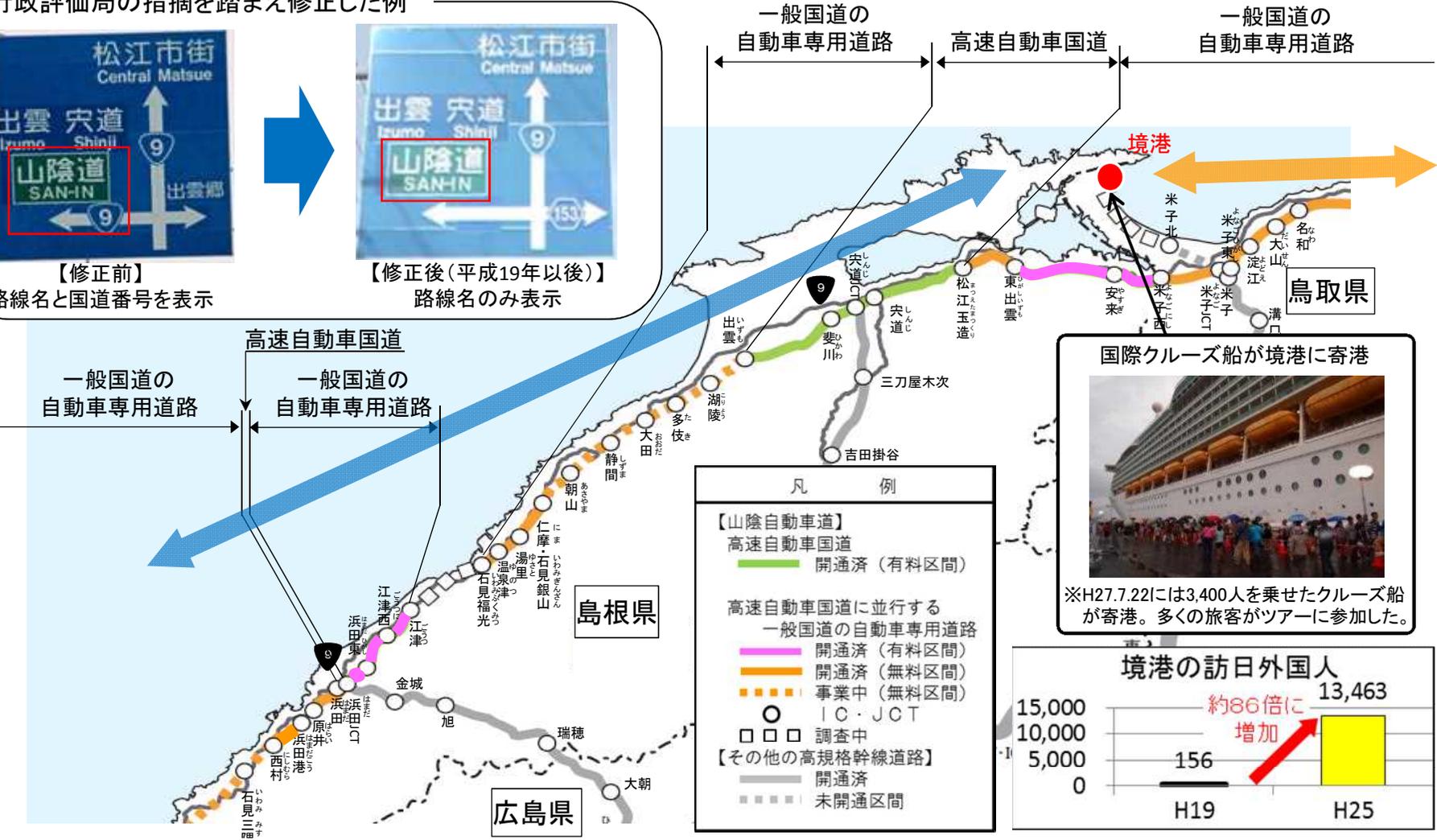
- ・ **訪日外国人旅行者数**は、**2倍増の約2000万人**に
(2012年) 836万人 ⇒ (2015年) 1974万人
- ・ **訪日外国人旅行消費額**は、**3倍増の約3.5兆円**に
1兆846億円 ⇒ 3兆4771億円

新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数	2020年： <u>4,000万人</u> (2015年の約2倍)	2030年： <u>6,000万人</u> (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年： <u>8兆円</u> (2015年の2倍超)	2030年： <u>15兆円</u> (2015年の4倍超)
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年： <u>7,000万人泊</u> (2015年の3倍弱)	2030年： <u>1億3,000万人泊</u> (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2020年： <u>2,400万人</u> (2015年の約2倍)	2030年： <u>3,600万人</u> (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年： <u>21兆円</u> (最近5年間の平均から約5%増)	2030年： <u>22兆円</u> (最近5年間の平均から約10%増)

高速自動車国道と一般国道の接続により案内が難しい例

- 高速自動車国道と一般国道の自動車専用道路が接続している箇所では、路線名と国道番号で案内していた事例が存在。
- 行政評価局からの「案内がわかりにくい」との指摘も踏まえ、路線名のみ案内に修正。



世界各国の高速道路ナンバリング

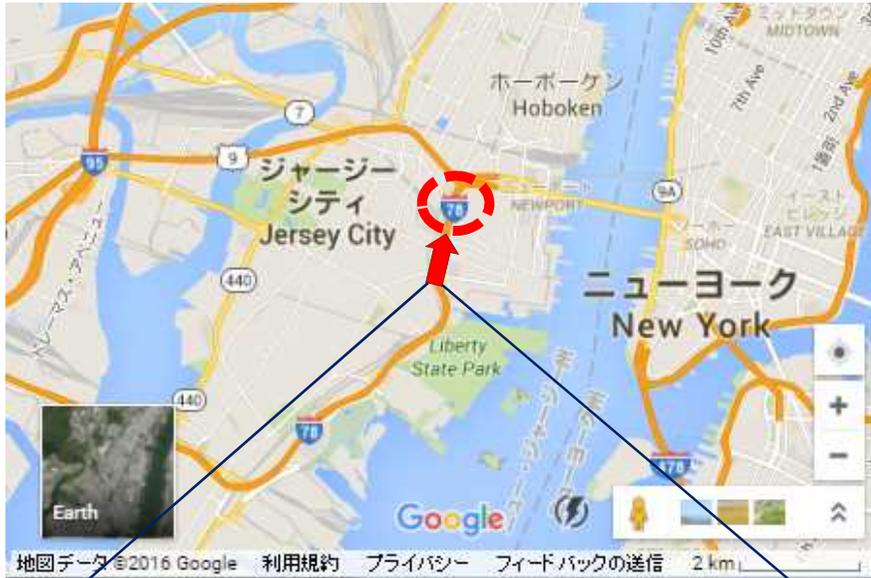
○世界各国で高速道路ナンバリングを既に実施済み。

国名	外国人旅行者受入数 (世界順位)(2014)※	ナンバリング 基本ルール	ナンバリングルール 運用上の特徴	ナンバリングの実施時期
ドイツ	3,301万人 (第7位)	南北は奇数、 東西は偶数	1桁は幹線ルート	1970年代よりナンバリングを 実施
フランス	8,370万人 (第1位)	都市を中心に 時計回り順に付番	1号線から20号線は 幹線ルート	1960年代(開通当初)より ナンバリングを実施
イタリア	4,858万人 (第5位)	規則性がない	1桁は幹線ルート	1950年代(開通当初)より ナンバリングを実施
イギリス	3,261万人 (第8位)	都市を中心に 時計回り順に付番、 (既存の国道番号と 概ね整合)	1桁は幹線ルート	1950年代(開通当初)より ナンバリングを実施
アメリカ	7,476万人 (第2位)	南北は奇数、 東西は偶数	南北方向の幹線ルートは、 西から東へ5、15、25…95 東西方向の幹線ルートは、 南から北へ10、20、30…90	1950年代(開通当初)より ナンバリングを実施
韓国	1,420万人 (第20位)	南北は奇数、 東西は偶数	南北方向の幹線ルートは、 西から東へ15、25…65 東西方向の幹線ルートは、 南から北へ10、20…50	1970年代よりナンバリングを 実施 2001年にナンバリングを再編 (整備順から左記ルールに変更)

※出典：平成27年11月「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議(第1回)」資料

世界各国における高速道路ナンバリングの活用

○地図、カーナビにおける路線番号の表示事例(米国)



出典: Google Map



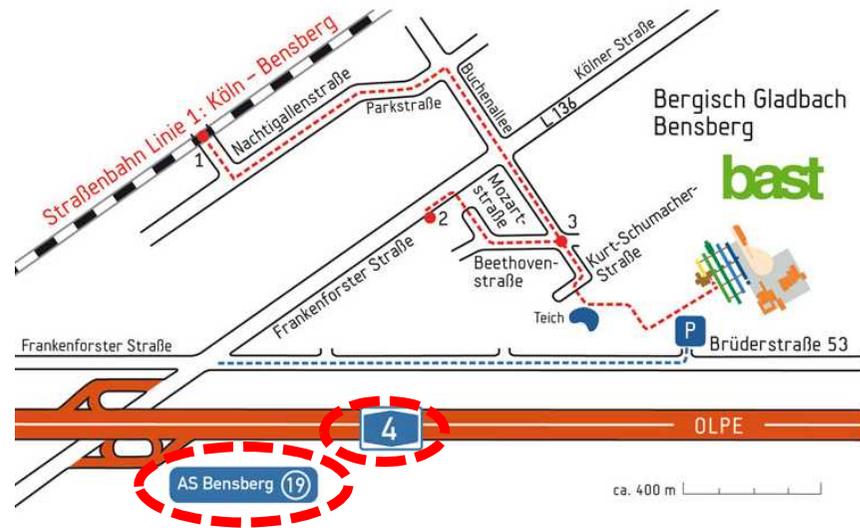
出典: TomTom HP

地図上の「↑」の位置における表示

○施設への道案内における路線番号、出口番号の活用事例(ドイツ)

「bast」(連邦道路研究所)へのHP上の案内

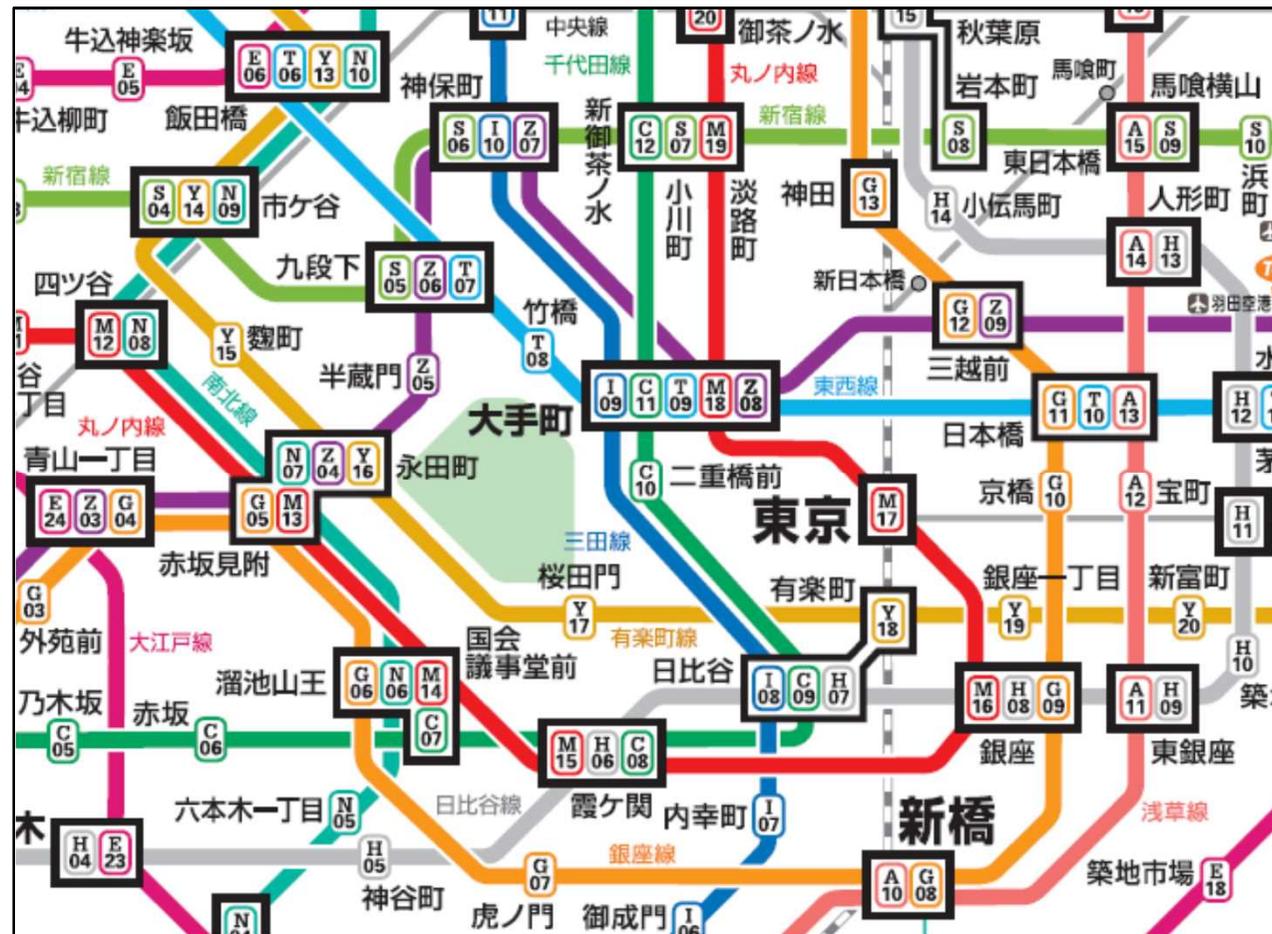
『高速道路4号のハンスベルク出口19番を出て、「bast」の標識に従ってください。』



出典: bast HP

鉄道事業者のナンバリング

- 東京メトロ・都営地下鉄では平成16年より、路線名や駅名にアルファベットや番号を併記した「駅ナンバリング」を実施。
- 東京メトロ等につき、関東の大手私鉄、大阪、名古屋、札幌等でも導入済み。

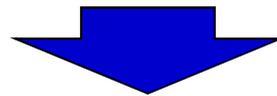


都心付近の駅ナンバリング(出典:東京メトロHP)

ポインター・プロジェクト

【検討概要】

道路サービス高度化検討懇談会（座長：中村英夫教授）
道路ユーザーの立場に立って、路線番号、標識など道路を
使う上での環境(ソフト)のあり方について検討



平成4年3月 提言

Pointer Project (ポインター・プロジェクト)

路線番号・標識・キロポスト・地図の連動による
ユーザーのためのわかりやすい道案内

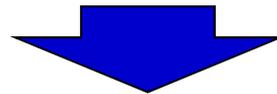
1. 路線番号によるわかりやすい案内
2. 交差点における交差路線番号表示
3. キロポストの設置
4. 道路と地図、ナビゲーション等との連携

*P*ositioning
and
*O*rientating
*I*nformation
for
*T*raffic
*e*n
*R*oute

わかりやすい道路案内標識に関する検討会

【検討概要】

わかりやすい道路案内標識に関する検討会（座長：家田仁教授）
すべての道路利用者にとってわかりやすい道路案内標識のあり方
について、利用者からの意見なども踏まえて検討



平成16年12月 提言

道路案内標識の3つの理念

ユーザー重視、システム・体系性の充実、標識のマネジメント

1. 自動車系案内の方向性

路線番号案内の充実（「高速道路における路線番号の付番とその表示」等）、
地名案内の信頼性向上、現在位置の同定性向上

2. 歩行者系案内の方向性

情報提供の体系化、情報内容の選択・整理等

3. 新たな課題への対応

国際化・観光客への対応、他メディアとの協力関係の構築等

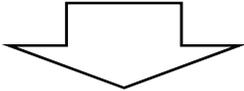
4. 標識のマネジメント

マネジメント型の標識計画・管理、協働の枠組の構築

進め方(案)

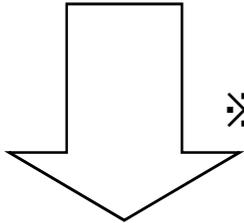
平成28年
3月8日

第21回 国土幹線道路部会



4月8日
(本日)

高速道路ナンバリング検討委員会設置

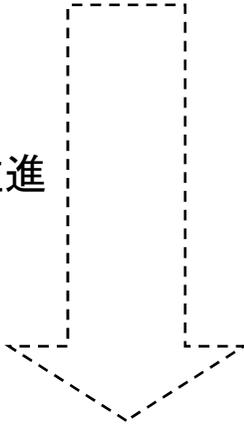


※ヒアリング等を実施

夏頃

検討結果 とりまとめ

標識等の整備推進



- 平成29年 東北道、沖縄道全通30周年
- 平成31年 東名全通50周年
- 平成32年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会
徳島道全通20周年